

国際会議から

アジア流体国際会議 (ACFM 15)

本国際会議は、流体力学に関する幅広い分野の情報交換を目的とした、アジア圏の国々における会議です。1980年に第1回目がインド バンガロールにて開催されて以来、日本、中国、韓国、イラン、スリランカなどのアジア各地で開催され、今回が15回目となります。日本では、1986年の第3回会議が東京で開催されています。

会議では、基礎的な流れ場から燃焼器に関する応用など多岐に渡るセッションがあります。全体で102件の発表があり、そのうち日本からは6件、筆者は流体機械のセッションにおいて、小型空力ブレーキの流体力学的な特性について発表を行いました(図1)。



図1 発表会場の様子

なお、この装置は、将来の新幹線をターゲットに、空気抵抗を利用した減速装置として開発を進めているものです。会場か



高見 創
環境工学研究部
車両空力特性研究室
首席研究員

らは「抵抗板を走行風で動作させる必要性」や「風洞側壁による影響」などについて質問があり、有意義な意見交換をしました。発表した論文は、「Best Technical Paper」を受賞し、会場において表彰状を授与されています(図2)。

今回の開催都市のクチン(マレー語で猫の意味)は、ボルネオ島北西部の東マレーシアに位置し、南シナ海にそそぐサラワク川沿いの歴史ある街です。街の中央を土色のサラワク川がゆっくりと流れ(橋はほとんどなく、渡し船で渡ります)、サラワク王国の首都として発展した歴史から、現在でもコロナ調やマレー風の建物が残ります。さらには中華街やインド人街もあって、マレーシアが多民族国家であることを感じられる観光にも良い街並みでした(図3)。



図2 授与された賞状
(ベストテクニカル論文)



図3 クチンの街並み

正式名称：The 15th Asian Congress of Fluid Mechanics
開催国：マレーシア(クチン)
期間：2016/11/21-24
主催：Institution of Engineers, Malaysia (IEM)
開催頻度：2~3年ごと
次回開催予定：2019年 インド
ホームページURL：<http://fet.mmu.edu.my/~acfm/>